

科名 外科

対象疾患名 膵癌

プロトコール名 GS療法

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ	↓		↓				
2	点滴注	側管	生食	50mL	30分かけて	↓		↓				
			デキサート	6.6mg								
3	点滴注	側管	ゲムシタビン	1000mg/m ²	必ず30分で点滴	↓		↓				
			5%ブドウ糖	100mL								
内服 S-1を1回40mg/m ² 1日2回 d1朝食後～d14夕食後投与、d15朝食後～d21は休薬												

★1クール=21日

～MEMO～

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。

- ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
- ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
- ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。

②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。

- ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
- ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。

<S-1>

・S-1は 14日間投与、7日間休薬

・S-1は 体表面積(BSA) < 1.25m²: 40mg/回

1.25m² ≤ BSA < 1.5m²: 50mg/回

BSA ≥ 1.5m²: 60mg/回